

(仮称)自治基本条例を考える会

(会議要旨 第19回 全体会議)

日 時：平成21年1月31日(土) 14:00～16:30

場 所：尾西生涯学習センター 5階 AB 会議室

出席者：自治基本条例を考える会委員 21名

ファシリテーター 石井伸弘氏・三島知斗世氏

事務局(企画政策課職員) 3名

1. 提言書案の修正について

結論

- ・ 提言書案で修正された意見は承認された。
- ・ 新たな修正箇所は以下の通り

第2章3項 評価

提言 市民一人ひとり、第三者機関 市民一人ひとり、活動団体、第三者機関に変更。

提言 を提言 と の間に入れ、残りの文章の番号を繰り下げ。

- ・ 確認の上、修正する箇所は以下の通り

第1章3項 用語の定義

提言 町内会長か、町会長かは確認して正しい方を採択し、修正する。

意見交換及び議論のプロセス

前文について

- ・ 一宮の名前の由来のあとに、真清田神社という言葉があったほうがいい。
- ・ 入れるなら、キーワードとして入れるのでは不十分。入れるならしっかり市場が一番に立った、という歴史的な意味をきちんと書くべきだろう。
- ・ すっきりまとまっているし、あえて入れる必要はないだろう。
- ・ 提言であるので、一宮の名前の由来を書いてほしい、ということを審議会に伝えればよいのではないか。
- ・ 真清田神社のことをきちんと書くと長くなるし、いちいち入れ始めたら前文が長くなって、一宮の紹介みたいになってしまう。簡素化してあるほうがいいだろう。
- ・ 一番、真清田神社に近いところに住んでいるが、あえて取り上げてくれなくてもいい。
- ・ 結論としては、原文に修正を加えない。

評価の主体について

- ・ 提言 は、提言理由 とほぼ同意であり、また評価の主体としては不明確であるため、活動団体を提言 に加え、提言 を削除してはどうか。
- ・ 分科会の議論では、市民の意見を集約する必要がある旨、議論されている。残した方が良い。
- ・ 提言 はむしろ6項 意見要望苦情等に入る内容ではないか。
- ・ 意見を集約する意味は、評価意見を集約すること。評価の項にあってよい。

- ・ 評価の主体という見出しは後付け。分科会での議論を尊重すれば、提言 の位置を移動し、評価の項のなかで表現する方が適切。

2 . フォーラムの実施について

- ・ 進行実務に関して承認された。
- ・ アンケート、連絡先記入用紙の配布が承認された。
- ・ 受付係、案内係 当日決めることとする。

3 . アンケートの中間集計について

アンケートを 1034 枚を集計した段階での中間集計がファシリテーターより提示され、アンケートの中間集計をどう活かすかについて議論を行った。

結論

- ・ アンケートの結果、「まちづくりを進めるために、市が行う仕事に、「ムリ・ムラ・ムダ」がないこと」の支持が大変高かった。市民の意見として取り入れるべき。33 人の委員の意見より、2000 人の意見を尊重する必要がある。中間集計の結果ではあるが、恐らく傾向は変わらないと思われる。
- ・ 取り入れる文章としては、以下の通り。
第 1 章 4 項 提言 (効率性の原則)
まちづくりは効率的・効果的に行われること。
- ・ また、アンケートで「まちづくりを進めるために、ゴミ問題や防犯などの地域の問題が、より身近なところ(町内会、ボランティア・市民活動等)で解決されていること」についても意見は多かった。この言葉が含意する「補完性の原則」を提言書に掲載するかどうか検討したが、アンケートで聞いている文章から補完性の原則という言葉を引き出すにはやや難があること、また市民自治の原則、協働の原則の2つの原則のサブファクターとして理解できることから、掲載しないこととした。
- ・ あわせて、提言の理由⑦は削除する。

意見交換及び議論のプロセス

- ・ アンケートの結果、効率性の原則は市民の意見として高い。どのように意見を取り入れるかについて、意見交換したい。
- ・ 補完性、効率性については運用面のことを言っているのではないか。アンケートと一致しなくてもいいのではないか。
- ・ 効率性の原則は行政、議会を対象とした言葉。提言書に追加すべきだと思う。
- ・ 補完性の原則は重要だと思う。
- ・ 補完性の原則は、協働でやるときには当然補完しあう。協働の原則に含めてしまう、という考え方もあるが、補完性の原則という言葉があってもいいのではないだろうか。
- ・ 補完性の言葉の定義がよく分からないが、地域づくり協議会の活動は正に補完性の原則を表現している。
- ・ 大別すると、既に内容として表現されているから、特に言葉を入れなくてもいい、という考

え方と、選ばれているから言葉を入れよう、という考え方と2つある。

- ・ アンケートの問い方としては、キーワードとして「補完性」「効率性」といった言葉を出していない。まちづくりの基本原則としてキーワードをあげなくても問題にはなりにくい。
- ・ アンケートを添付するだけでなく、次の審議会にきちんとアンケート結果を参考にして欲しい、ということ伝える方法もあるだろう。
- ・ 市民の意見はやはり重要。効率性の原則についてやはり一項目立てるべきではないか。多数の市民の意見を無視するということは自己矛盾するだろう。
- ・ そもそもアンケートの目的は市民代弁性を高めるため。アンケートの意見を聞かないというのはおかしいことになるだろう。
- ・ 2月14日のフォーラム意見と、アンケート意見をあわせて、きちんと修正していくべきだろう。
- ・ 補完性の原則をアンケートで表現している言葉を補完性の原則としてそのまま使う必要はないだろう。協働という言葉の中に補完性原則というサブファクターである。
- ・ 組織の大小の補完性という意味で言えば、市民自治の原則のサブファクターになる。

4 . アンケート集計作業

各委員でアンケートの集計作業を行った。